

CSR調達ガイドライン

サプライチェーン全体で持続可能な社会の発展を支え、SDGsの達成に貢献するため、CSR調達ガイドラインを制定しました。取引にあたっては、経営・品質・価格・納期・サービス、技術開発力などに加え、CSR調達ガイドラインをご理解いただくことを取引可否の判断基準の一つとして設定し、本ガイドラインに定める事項の順守を要請します。また、CSRへの取り組み状況をモニタリングする為、アンケートを実施させて頂き、調査の結果、課題のある取引先様については改善を依頼させていただきます。

1. CSRを推進し、社会貢献に積極的に取り組むこと

- ・ステークホルダーを尊重し、健全で持続可能な社会づくりに貢献すること
- ・社会貢献や地域活動(環境維持や改善)に積極的に取り組むこと

2. コンプライアンス(法令順守など)、公正取引・企業倫理を維持・強化すること

- ・企業活動において社会規範に反することなく、公正・公平に業務遂行すること
- ・法令などを順守すること(独禁法、商法、会社法、下請法、個人情報保護法、外為法など)
- ・あらゆる利害関係者への腐敗行為・贈収賄を禁止すること
- ・(違法な贈与、支払、対価、金銭的または金銭以外の利益供与など)
- ・反社会的な個人、団体とは関わりをもたないこと
- ・不正行為の予防と発見のための措置を行うこと

3. 環境活動を維持・強化すること

- ・継続的な環境保全活動を推進すること(ISO14001取得など)
- ・原材料や水、エネルギーの利用における効率向上など、資源の有効活用や省エネに努めること
- ・大気、水、土壌への汚染物質の排出を抑制すること
- ・廃棄物について3Rを促進すること(リデュース:廃棄物の発生抑制、リユース:再使用、リサイクル:再資源化)
- ・グリーン調達、グリーン購入を推進し、環境負荷低減に努めること
- ・温室効果ガス(CO2など)の排出削減に努め、気候変動の緩和に取り組むこと
- ・自然保護など生物多様性保全のための取り組みを推進すること

4. 製品の安定供給に努め、品質、製品安全を保証すること

- ・品質保証活動を推進し、継続的に改善を行うこと(ISO9001取得など)
- ・法令順守と共に想定されるリスクの低減に努め、製品安全を確保すること
- ・非常時に起こりうる状況や事象を事前に想定し、事業継続計画(BCP:Business Continuity Plan)を整備すること

5. 人権を尊重すること

- ・児童労働、強制労働、体罰、虐待、人身売買など非人道的行為を禁止すること
- ・性別、国籍、人種、信条、年齢、障がいの有無、LGBTQ+など、あらゆる差別を禁止すること
- ・個人の尊厳を傷つけるハラスメント(セクシャルハラスメント、パワーハラスメントなど)を防止すること
- ・外国人技能実習生を含む外国人労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を整備すること
- ・紛争鉱物規制に対し、責任ある調達を推進すること
- ・労働安全衛生について、活動を展開する国や地域の法令を順守すると共に、従業員の健康を留意し、健康経営への取り組みも通じて、当該国の居住水準または安全衛生基準を下回らず、適切に確保し、安全で働きやすい職場の実現に努めること
- ・労働時間に関し、活動を展開する国や地域の法令に従い、過度な労働時間について削減に取り組むこと
- ・賃金について、活動を展開する国や地域の法令に従い、最低賃金を超える適切な賃金を支払うこと
- ・労働者の結社の自由に関し、活動を展開する国や地域の法令に従い、権利を支持・尊重すること
- ・労働者の団体交渉権などに関し、活動を展開する国や地域の法令に従い、権利を支持・尊重すること
- ・動物実験などについて、動物福祉に配慮すること

6. ステークホルダーに適時適切に情報を開示・対話するとともに、情報セキュリティ対策を維持・強化すること

- ・製品やサービスに関する情報、会社の財務情報・非財務情報、リスク情報などを適時開示すること
- ・機密情報、個人情報などは適切に管理し、情報の漏洩や紛失の防止に努めること
- ・他者の知的財産権を尊重し、不当に侵害しないように関連法令・規則などの順守を徹底すること
- ・相談窓口の設置など、社内外からの苦情や問題を解決する仕組みを整備するとともに、報告者や相談者の保護に努めること
- ・サプライチェーン全体を通して企業として社会的責任を果たすため、取引先にも本ガイドラインに定める事項を伝達し、順守を要請することに努めること

